

リレー記事 No.96

企業の3R

エコけんは、この3年、福岡県の協働推進事業「親子リサイクル探検隊」の委託を受けて実施しています。これは、県内の施設や企業の3Rの取り組みを見学する人気の親子バスツアーです。ツアーで見聞きした企業の知られざる3Rを抜粋して紹介します。

3R：リデュース（ごみを減らす）リユース（再利用）リサイクル（再資源化）

西部ガス(株)福北工場（福岡市）

■PE管（ガス管）廃材の100%再資源化
埋設ガス管標識シートや事務用品として再利用

- ・ガス導管工事で掘削土・アスコン塊の発生抑制とリサイクル
- ・梱包材のリサイクル ・ガスメーターの再生 などなど

おみやげに
もらいました。



PE管廃材を
使用した事務用品

日本食品(株)（古賀市）

■ほぼ使い切る食品工場

あまり利用されていない牛・豚の脂肪等を原料とし、食用油脂（ラード・ヘッド）を中心に、工業用油脂、飼料用油脂など、用途に応じた製品を製造



ヤフオクドーム（福岡市）

■ヤフオクドームの広大な屋根の雨水利用
雨水集水装置によって雨水貯留槽に送られる過処理し
トイレ洗浄用の中水として利用。

- ・エコステーション設置
紙コップ、ペットボトル（リサイクル）の分別収集



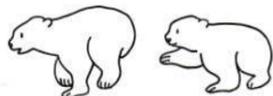
残念! 雨水処理施設は撮影禁止でした

(通常工場見学を実施していない企業もあります。)

いまや企業は、社会的責任として3Rに取り組むのはあたりまえのようです。しかしツアーの参加者は3Rってなあに？から始まることから、かなり意識の開きを感じました。

エコけんの活躍の場所はまだまだありそうです。

《ひらっち》



しろくまプロジェクト 進行中!

エコけんでは、ボランティアと同じように、寄付も社会参加のひとつの形だと考えています。それは、「自分は、直接はその活動に参加できないけれど、社会にとって大切な活動だと思うから、実働する人を資金的に応援しよう。」という意志の表現だと思うからです。その寄付で運営しているのが、昨年から取り組む「しろくまプロジェクト」です。

しろくまプロジェクトは、未来を担う子ども達と学校を、生活体験型の環境教室で応援する活動です。なぜその応援が必要かという、次の課題があげられるからです。

- ①子ども達には、生活体験が不足しています。
- ②学校には、体験学習のための資材や人手が不足しています。
- ③学校現場には、体験に境教育の経験者が不足しています。



もちろん、学校は教育の専門機関として機能しているところではありますが、子ども達はみんなの宝ですから、その育ちをみんなで見守り応援したいものです。そこで、皆さんの志を受け、その思いを共有しながら、長らく生活体験型の環境教室を実践してきたエコけんが、学校で教室を実施します。

本年度、県内96校の小学校に要項をお送りしたところ、下記の応募がありました。
(応募順に記載)

	小学校名	学年	児童数	体験活動	実施日	地区	新規
1	石丸小学校	4	112	古布ティッシュづくり	6/18	福岡	○
2	剣南小学校	5	35	廃材工作	6/27	筑豊	○
3	美和台小学校	5	175	雑がみ工作	1/23	福岡	○
4	花鶴小学校	4	89	しろくますごろく	7/11	福岡	○
5	千鳥小学校	4	61	雑がみ工作	9/24	福岡	
6	大川小学校	5	130	しろくますごろく	9/13	福岡	○
7	大川小学校	5	130	古布ティッシュづくり	10/16	福岡	
8	内浦小学校	4	15	しろくますごろく	11/10	北九州	
9	内浦小学校	5, 6	15	鍋炊飯	1/9	北九州	
10	自由が丘南小学校	5	67	鍋炊飯	11/27	福岡	○
11	西川小学校	5	11	発電体験	12/10	筑豊	○
12	小野小学校	4	60	雑がみ工作	9/26	福岡	○
13	宇美東小学校	3	60	雑がみ工作	10/22	福岡	
14	福間小学校	1~6	80	しろくますごろく	11/15	福岡	

実施にあたり事前に必ず学校を訪問し、先生方と直接うち合わせをします。先生方にはお手間をかけてしまいますが、うち合わせを通し、先生方とも思いを共有できるのは大きな利点でもあります。

これからも引き続き、しろくまプロジェクトを皆さまの志（ご寄附）で応援くださいますようお願いいたします。

《S》

今年も“エコロ田”育成中!

エコロの森 再生・展示棟前に広がる小さな田んぼ「エコロ田」は、稲作2年目になりました。昨年よりも広さを2.5倍に増やし、秋の実り、収穫を目指し育成中です。

6月14日の「親子田植え体験教室」には、4組12名の親子が参加されました。種まきから食卓にのぼるまでを知った後、裸足になってエコロ田での作業にのぞみました。代掻きと田植え作業を体験し、それぞれ持ち帰り用にペットボトルにも苗を植えました。参加者は、エコロ田と家庭に持ち帰った稲の両方を観察できます。



田んぼは生き物の生育場所としての役割もあります。エコロ田にも福津市の農家さんからいただいた田んぼの土を少し入れた事で、おたまじゃくしやカブトエビが泳ぐ姿を観察できました。カブトエビは、たくさんの脚で土をかく事で、除草をしてくれます。6月から7月にかけて1ヶ月程元気に泳ぎ回っていました。その後は土に産卵し、翌年田んぼに水を張ると羽化するそうです。

今年の夏は日照不足で、エコロ田の稲もなかなか穂が出ず心配しましたが、9月に入って出穂が確認でき開花もしました。秋の実りまであと一歩、エコロ田を見守りたいと思います。エコロの森へ来館の時には、ぜひエコロ田も見てください。今後の作業の様子はFacebookでもお知らせします。



刈り後の教室へもぜひご参加ください。

《Yっち》

エコロの森でおいしいご飯を食べましょう!

11月 鍋炊飯教室 ■参加費350円 10:00~12:00

12月 14日 12月 しめ縄作り教室 ■参加費200円 10:00~12:00

自分で作ったお正月飾りで新年をむかえましょう!

未来を創ろうインタビュー

No.39 NPO法人古賀市文化協会 会長

結城 俊子 氏

NPO法人古賀市文化協会会長の結城俊子さんにお話をうかがいました。古賀市文化協会は、①文化芸術の振興 ②人を元気にすることが活動ミッションだそうで、会員は、90団体・900人にも及ぶ大きな団体さんです。結城さんご自身は、サンフレッシュ体操の講師として、シニア向けの体験教室や介護予防体操の教室を実施されておられるそうです。「人と人の関わりが元気の素になると思います。」とさわやかに微笑まれました。地域ぐるみによる健康づくりをすることで、人との関わりが生まれ元気が生み出されるということ。確かに、健康で元気があってこそ、エコ暮らしを楽しむこともできますね。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. 便利・簡単に流されず、特に子育てやものづくりには、手間をかけることが大切。地域に代々伝わった料理は文化とも言えるので、食事にも手間をかけることが重要だと思う。

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. 計ってみると、必ずしも新しい商品が省エネではないので、中古品も購入対象にしている。家庭菜園で野菜、果物など栽培し、自家製による食事を心がけている。



未来を創る私の思い

文化芸術を通して人や地域を元気にしたい

古賀育ちの結城さんは、8人家族4世代の大家族でいらっしゃるそうで、毎年、地元小野小学校の運動会では、結城さんが振り付けられた校歌の踊りで盛り上がるそうです。地元で根ざした活動を大切にしたいとお話しくれました結城さん。生活に息づく文化推進のお姿が印象的でした。

《S》

次回のぼらんず

※ぼらんずとは、毎月のボランティア清掃です。

雨天中止



10月 14日 (火) 15:00~ 1時間程度 エコ口の森周辺

12月 3日 (水) 15:00~ 1時間程度 エコ口の森周辺

11月は「るんるん♪ごみ拾い」。詳しくはお問合せください。



未来を創るインタビュー

No.40 株式会社 正興電機製作所 総務部 小田 義文 氏

主に古賀市、福津市の事業者で構成されている「金曜会」。今年度の金曜会の幹事、株正興電機製作所の小田さんを訪ねて。新しくなった古賀事業所に伺いました。

とても立派な新社屋に気おくれしましたが、出迎えてくださった小田さんの気さくな雰囲気助けられました。「新しい電化製品もすぐに手に入る世の中だけど、使えるものを買替えることはしません。処分にはお金も手間もかかりますので最後まで使います。製品は機能を果たせばいいからですね。けちですかね。」あはは、と笑われた優しい笑顔についこちらも笑ってしまいました。いえいえ、合理的です。経済の活性化を考えると矛盾を感じられるものの、まだまだ使える電化製品が放置され処分されるのを見ると、もどかしい思いがするとのこと。新機能が付くと欲しくなるわが身を振り返り、反省しました。

小田さんは、家庭菜園のお世話でとても体調がいいそうです。虫食いや変形の野菜もご愛嬌。食べきれない野菜をご近所におすそ分けされるのも楽しみの一つだそうです。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. ごみを減らす。

儉約。(軍師官兵衛と同じですね)

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけておられることがあれば聞かせてください。

A. むだ買いをしない。

夏も扇風機でだいたい大丈夫。



未来を創る私の思い

儉約を基本に粗大ごみの

排出の削減に心がけたい

小田さんは、株正興電機製作所として、ラブアースに参加され。古賀の海岸を清掃されています。「もっとたくさんの企業の方も参加されるといいですね。」と話を締めくくられました。

《ひら》

るんるん♪ごみ拾い (古賀市公募型補助金事業)

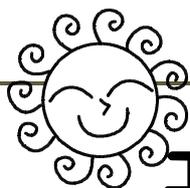
11月16日(日) 9:00~16:00 まつり古賀会場 (古賀市駐車場)

今年もまつり古賀で、“るんるん♪ごみ拾い”をします。まつりを楽しみつつ、まつり会場をきれいにする“るんるん♪ごみ拾い”。子どもの参加率が高いのは、大人には、ちょっと照れもあるのでしょうか。だれでも気軽にできるごみ拾いからボランティアを始めませんか。



また、ブースではエコけんイチオシのエコグッズや不用品を販売します。会場で青いエコけんの旗を見つけたら、るんるん♪しにおこし下さい。

《 Ms.W 》



エコけんバスツアー参加者募集!



12月1日(月) 8:30~16:00 (発/着: 古賀駅東口前ロータリー)

古賀 → 安川電機 → 昼食 → シャボン玉石けん → 古賀

参加費: 交通費として500円 昼食代は各自ご負担ください

今年、北九州の安川電機とシャボン玉石けんに行きます。

来年で創立100周年を迎える安川電機では、最先端の産業用ロボットのモートマンの組み立て過程やデモンストレーションを見学します。私たちの生活の中で直接つながりがないようですが、コインランドリーの洗濯機や浄水場などで安川電機の技術が活かされているそうです。



また、シャボン玉せっけんは、「健康な体ときれいな水を守る。」ことを掲げ無添加にこだわって40年です。以前は、固形石けんと粉石けんのみでしたが、消費者のニーズに合わせた液体石けんなど、種類も増えてきています。見学で、職人さんの石けんの味見が見られるか、密かに楽しみにしています。

バスの中では、景品付きお楽しみクイズもあります。お楽しみに!ご都合のつく方はぜひ、ご参加ください。ご予約、お待ちしております。

《 Ms.W 》



仮認定NPO法人



〒811-3101 福岡県古賀市天神1丁目19-21
[TEL/FAX] 092-944-6450 [mail] eco_ecoken@ybb.ne.jp
[HP] <http://www.10.ocn.ne.jp/~ecoken>